

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

群馬県知事 山本一太 様

提出者 〒373-0007

住所 群馬県太田市石橋町31番地

氏名 小林建設工業株式会社

代表取締役 小林伴起

電話番号 0276-37-1221



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	小林建設工業株式会社
事業場の所在地	群馬県太田市石橋町31番地
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1034.18t	全処理委託量	1034.18t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	0.02t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	1009.59t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)

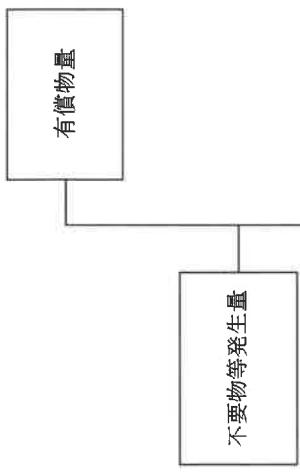


項目	実績値
①排出量	1007.39t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1024.99t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	1007.39t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
⑮自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨	0t
⑯自ら中間処理した後 自ら直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑩	1,024.99
⑰自ら中間処理による減量した量 ⑦	0t
⑱自ら中間処理した後 自ら直接利用した量 ④	0t
⑲自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	0t
⑳自ら直接再生利用した量 ②	0t
㉑自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	0t
㉒(⑩)のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	1007.39t
㉓(⑬)のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑮	0t
㉔(⑭)のうち熱回収を行う業者への処理委託量 ⑯	0t
㉕(⑮)のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑰	0t

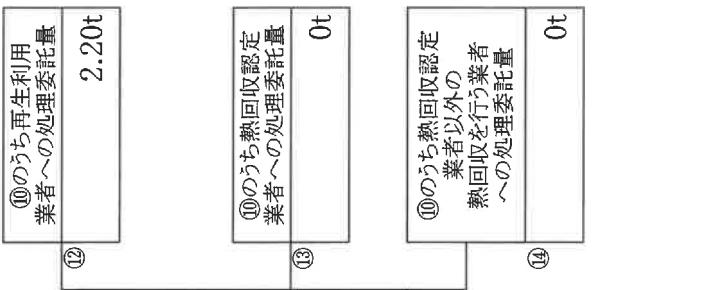
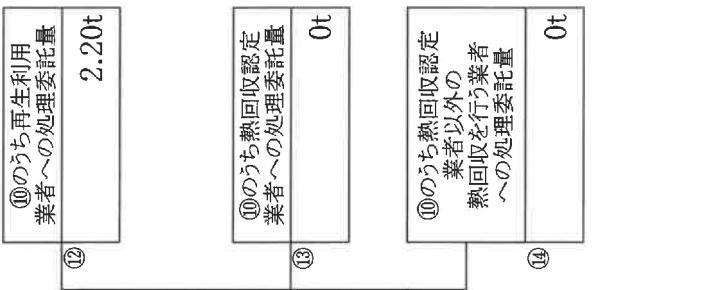
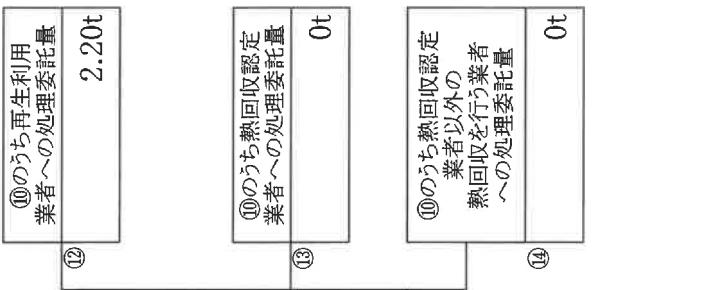
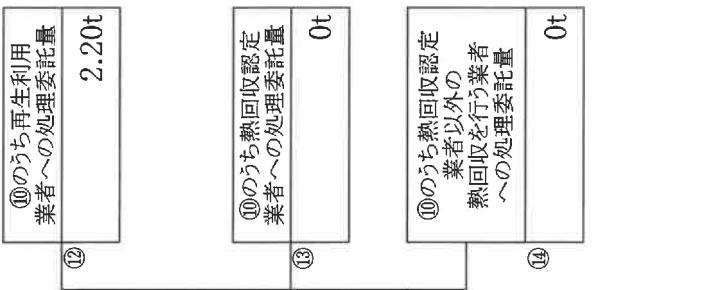
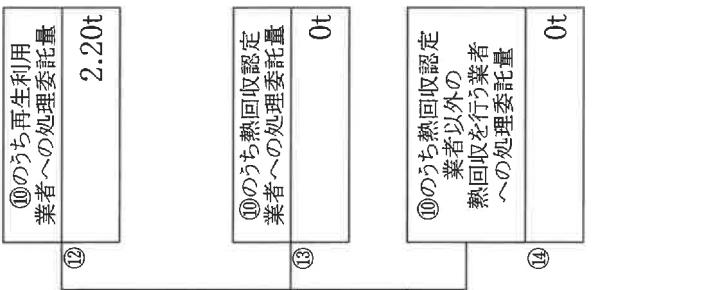
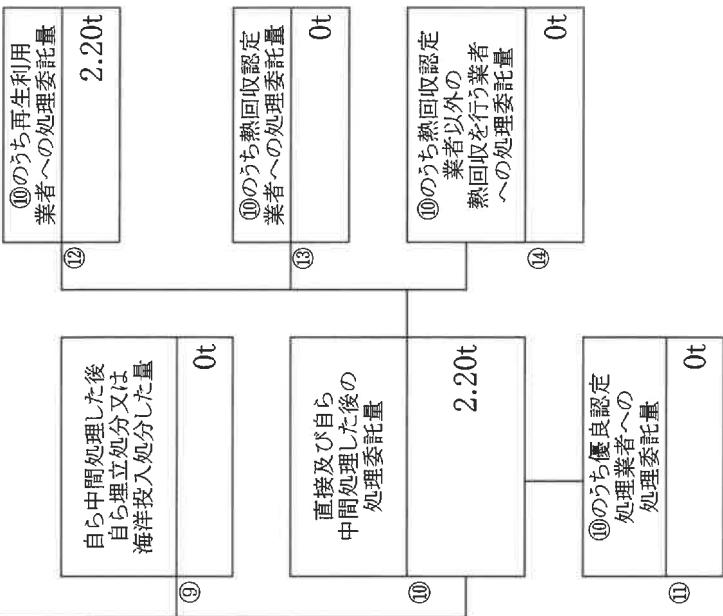
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	2.20t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
⑨自ら埋立処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	2.20t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.20t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



不要物等発生量

有償物量

②
自ら直接
再生利用した量
0t

①
排出量
6.99t

③
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
0t

⑧
自ら中間処理した後
再生利用した量
0t

項目	実績値
①排出量	6.99t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	6.99t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.02t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

項目	実績値
④自ら中間処理した量	0t
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0t
⑧自ら中間処理による減量	0t
⑩直接及び自ら中間処理した後の中間処理委託量	6.99t

項目	実績値
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.02t
⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t

項目	実績値
⑪のうち再生利用業者への処理委託量	0t
⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。